

平成30年7月3日(火)、松江市立母衣小学校5年生94名に対して、第1回みーもスクールとして、「森林保全の大切さ」の講義と間伐材を使った「フクロウのキーホルダーづくり」の指導を行いました。

3クラスが、2グループに分かれて2種類のコースを交代で受講しました。

島根県の森林率が78%という事で、いかに島根県には森林が多いかという事を実感したようでした。また、今から使う事の出来る木が沢山あるという事から、みんなで島根の木を使うようにしたいという意見がでました。

森林の持つ働きについても話し、いかに森林を大切にしなければならないかを学習しました。



同時進行の授業では、島根県森林インストラクターで大工の竹田正彦氏から指導を受け、間伐材でフクロウのキーホルダー作りをしました。小さなパーツをピンセットを使ったりして組見込んで色々な表情のフクロウの顔ができました。全員、木のぬくもりのあるオリジナル作品を完成させました。



平成30年10月30日（火）奥出雲町阿井地内と宍道町ふるさと森林公園内で松江市立母衣小学校第2回みーもスクールを開催しました。当日は天候に恵まれ、3クラスをバス2台に振り分け、午前と午後の体験メニューを入れ替えて実施しました。



シイタケ原木現場の見学



間伐体験



牛とエサの保存方法

原木シイタケの試食



ネイチャートレイリングの様子



樹木学習の様子

ふるさと森林公園にて

平成30年12月6日（木）松江市母衣小学校5年生93名に対して、第3回みーもスクールとして「ヒノキの和紙作り体験」の指導を行いました。

1・2時間目に3組、2・4時間目に1組、5・6時間目に2組を対象に実施しました。



和紙についての話しと  
工程を説明。



タブノキの葉をちぎる



ちぎった葉をミキサーにかけて  
漉します。（ネリ作り）



全員ネリにさわって感触を確かめます。



檜の甘皮の煮たものを叩きます。



紙の漉き方を教わり、紙漉きに挑戦します。



最後にアイロンをかけて段ボールに移して

完成！！

児童の中には紙漉き経験者もいましたが、漉き方が違っていたり、今日は自分だけで初めから終わりまで意外と簡単に、しかも上手に出来た事が嬉しかったようです。